

スカシユリ抑制栽培における球根サイズと切花品質

藤原 一 道

(岩手県園芸試験場)

Relationship between Bulb Size and Cut Flower
Quality of Asiatic Hybrid Lily in Late Cultivation

Kazumichi FUJIWARA

(Iwate Horticultural Experiment Station)

1 はじめに

スカシユリの切花品質は、球根の大きさに左右されるということが知られている。切花品質はおもに切花の長さや花蕾数で評価され、一般的にはより大きな球根の使用でこれらの品質が向上する。しかし、必要以上に大きい球根を使用すると切花が大きくなりすぎることがあり、その場合生産コストの上昇にもなるので、目的の規格を満たす切花が得られる範囲でできるだけ小さい球根を使用するのが望ましい。そこで、抑制栽培における球根のサイズと切花品質との関係を明らかにすることを目的に本試験を実施した。

2 試験方法

(1) 球根サイズ (球周)

① 8~10cm ② 10~12cm ③ 12~14cm

解凍球のりん片をはがして3段階の大きさに調製した。

(2) 定植日 ① 7月12日 ② 8月9日

(3) 供試品種 ① グランパラディソ ② モナ

(4) 試験規模 1区96~160球, 反復なし

(5) 耕種概要

① 栽植距離 床幅100cm, 12×12cm, 8条植

② 施肥量 窒素・リン酸・加里 各1.5kg/a

③ 栽培環境 雨よけハウス, 黒寒冷紗1枚被覆 (植付~9月中旬まで)

(6) 試験場所 岩手県和賀郡沢内村 (標高約300m)

3 試験結果及び考察

(1) 生育

定植から8月上旬までは日照不足で経過したが、生育は概ね順調であった。生育途中の調査では、品種・定植日にかかわらず、球根サイズに比例した生育量を示した。

(2) 採花期

両品種ともいずれの定植日においても球根サイズによる採花期の差は少なかった。到花日数は、7月12日定植では両品種とも50~60日であったが、8月9日定植ではモナで55~70日、グランパラディソで61~77日と長くなった。

(3) 切花品質

7・8月定植とも切花長、切花重、花蕾数はほぼ球根サイズに比例して向上したが、品種によりその程度に差があった。

グランパラディソの切花長は、7・8月定植とも8~10cm球で75cm, 12~14cm球では90cmとなり、球根サイズにより最大15cmの差がみられた。一方花蕾数は、8~10cm球で約3個, 10~12cm, 12~14cm球で4~5個であり、球根サイズによる差があった。定植時期別では、各サイズとも7月定植のものに比べて8月定植のものが同等か上回る品質となったが、特に10~12cm球で顕著であった。以上より、本品種は切花長・花蕾数において球根サイズによる差が現れやすいと認められたが、今回供試した球根サイズの範囲内では切花が大きくなりすぎることなく、大球を使用した方が高品質の切花が得られた。

モナの切花長はグランパラディソに比べて短く、いずれの場合も80cm未満にとどまった。球根サイズによる差は7・8月定植とも6cm程度で、グランパラディソと比べて差が小さかった。花蕾数はいずれも5~6個と比較的安定しており、球根サイズによる差は少なかった。定植時期別では、全てのサイズの切花長・切花重と、8~10cm球の花蕾数において、8月定植のものが若干上回る程度であった。以上よりこの品種は、本試験で供試した球根サイズの範囲内では切花品質の差が小さく、大球を使用しても切花品質に反映されにくかった。

(4) 採花率

採花率、モナではいずれの球根サイズでも90%以上で問題なかったが、グランパラディソの8~10cm球では50~70

表1 供試球根の状況

定植日	球周 (cm)	グランパラディソ			モナ		
		球重 (g)	出芽長 (cm)	植え付け球数 (個)	球重 (g)	出芽長 (cm)	植え付け球数 (個)
7/12	8~10	17.0	0.5~2.5	104	15.7	0~0.5	104
	10~12	23.8	"	104	21.2	"	104
	12~14	32.0	"	160	31.0	"	160
8/9	8~10	15.0	1	96	17.4	0	97
	10~12	23.5	"	96	24.0	"	96
	12~14	27.8	"	160	29.6	"	160

表2 グランパラディソの生育量及び切花品質

定植日	球周 (cm)	8月9日		8月26日		9月13日		切花品質		
		草丈 (cm)	蕾数 (個)	草丈 (cm)	蕾数 (個)	草丈 (cm)	蕾数 (個)	切花長 (cm)	切花重 (g)	蕾数 (個)
7/12	8~10	40.0	3.2	65.9	2.9	—	—	75.6	78.9	2.9
	10~12	46.8	3.9	76.4	4.1	—	—	82.1	87.6	4.1
	12~14	51.0	4.0	81.5	4.5	—	—	90.0	106.8	4.5
8/9	8~10	—	—	—	—	49.5	3.1	75.4	79.5	3.1
	10~12	—	—	—	—	58.6	5.0	85.0	103.3	4.6
	12~14	—	—	—	—	61.6	4.8	90.0	110.8	4.9

*採花期 7月12日定植 9/3~9/10
8月9日定植 10/10~10/27

表3 モナの生育量及び切花品質

定植日	球周 (cm)	8月9日		8月26日		9月13日		切花品質		
		草丈 (cm)	蕾数 (個)	草丈 (cm)	蕾数 (個)	草丈 (cm)	蕾数 (個)	切花長 (cm)	切花重 (g)	蕾数 (個)
7/12	8~10	34.0	4.5	62.1	5.3	—	—	67.8	53.9	5.3
	10~12	34.4	4.4	66.0	6.0	—	—	72.3	63.3	6.0
	12~14	39.3	5.3	70.6	6.3	—	—	73.0	67.8	6.3
8/9	8~10	—	—	—	—	49.5	5.5	70.8	68.6	6.4
	10~12	—	—	—	—	53.4	5.6	73.5	77.1	6.0
	12~14	—	—	—	—	55.6	5.8	76.9	85.8	6.3

*採花期 7月12日定植 8/30~9/8
8月9日定植 10/4~10/20

表4 採花率

定植日	球周 (cm)	グランパラディソ			モナ		
		植付 球数	収穫不 能球数	採花率 (%)	植付 球数	収穫不 能球数	採花率 (%)
7/12	8~10	104	51	51.0	104	9	91.3
	10~12	104	15	85.6	104	4	96.2
	12~14	160	10	93.8	160	7	97.5
8/9	8~10	96	30	68.8	97	5	94.8
	10~12	96	8	91.7	96	5	94.8
	12~14	160	7	95.6	160	4	97.5

%と大幅に低下した。これはブラインドの発生が多くなったことによるが、その原因として球根の能力の低さのほかに、生育初期の日照不足の影響が大きいと考えられた。

4 ま と め

スカシユリの抑制栽培で、球根サイズと切花品質との関係を検討し、次の結果を得た。

(1) 球根サイズに比例して切花品質は向上するが、その程度は品種によって差があった。

(2) 球根サイズによる採花期の差は少なかった。

(3) グランパラディソは球根サイズによる切花品質の差が大きかった。7・8月定植では、球周10~12cmの球根で切花長80cm、花蕾数4個以上の切花が得られたが、8~10cm球ではブラインドの発生が多くなり、採花率が低下した。

(4) モナは球根サイズによる切花品質の差が小さかった。10~12cm球で切花長70cm、花蕾数6個以上の切花が得られた。採花率は良好であった。